

このコーナーでは、市の環境に関する取り組みや、くらしに役立つ情報を紹介します。
サステナ
 ○Sustainaには、「持続可能な～」という意味があります。

ごみの減量化・資源化にご協力ください

家庭系ごみの1人1日当たり排出量を令和9年度までに54.7g減らす目標とします

年 度	令和3年度 (実績)	令和9年度 (目標)
家庭系ごみ※ 1人1日当たり排出量 (g/人日)	681.29	626.59

※家庭系ごみのうち、資源物を除いたごみの量
(可燃、不燃、粗大ごみの量)



ごみを減らす目標に向けてご協力をお願いします

目標達成には、令和9年度までに毎年1人1日当たり約9gのごみを減らす必要があります。

①水切り

家庭から排出される生ごみの約80%は水分と言われています。水気を切ることで、ごみを焼却する際の二酸化炭素の排出を抑えるだけでなく、悪臭やコバエの発生を防ぐことにもつながります。

②食品ロス


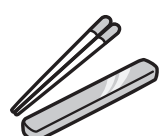


買い物時に「買いすぎない」、料理を作る際「作りすぎない」、外食時に「注文しすぎない」、そして「食べきる」ことで、食品ロスを防ぐことができます。

③分別

適正に分別すれば、ごみの中には資源物として出せるものが多く含まれます。

1人1日当たり約9gのごみを減らすには？

【9gの重さとは】

ニンニク	ミニトマト	割りばし	A4サイズの コピー用紙	20リットル程度の レジ袋
約1片	約1個	約3人分	約2枚	約1枚
<p>食材などは「買いすぎない」「作りすぎない」「注文しすぎない」「食べきる」ことで減らせます。</p> 	<p>マイ箸を使用することで減らせます。</p> 	<p>資源物3の雑誌等と一緒に出せます。</p> 	<p>マイバッグを利用することで減らせます。</p> 	

※令和4年度に「笠間市一般廃棄物処理基本計画」の見直しを行いました。

問 資源循環課 (内線129)

生ごみ処理容器購入費の補助を活用し、生ごみを減らしませんか。

○生ごみ減量化容器(電動) 補助内容

- ・購入金額の2分の1以内(1,000円未満切り捨て)
- ・20,000円を上限(1世帯あたり1基を限度)
 ※屋内に設置でき、電動で乾燥させることにより生ごみを約7分の1まで少なくすることができます。

○生ごみ処理容器(コンポスト・EMぼかし容器) 補助内容

- ・購入金額の2分の1以内(1,000円未満切り捨て)
- ・1基あたり3,000円を上限(1世帯あたり2基を限度)
 ※電気を使わずに、微生物の力で生ごみを分解します。



詳しくは資源循環課までお問い合わせください。